

110
110
110
110
110
110
110
110



110
110
110
110
110
110
110
110





エル

ネ

ラ

トラ

レ

2

女騎士アクティ編



私の名は、アクティ
このエルフの国に仕え
騎士団長を勤めている

そしてこの方は、私が忠誠を誓った
この国の王女ラフィーネ様である。

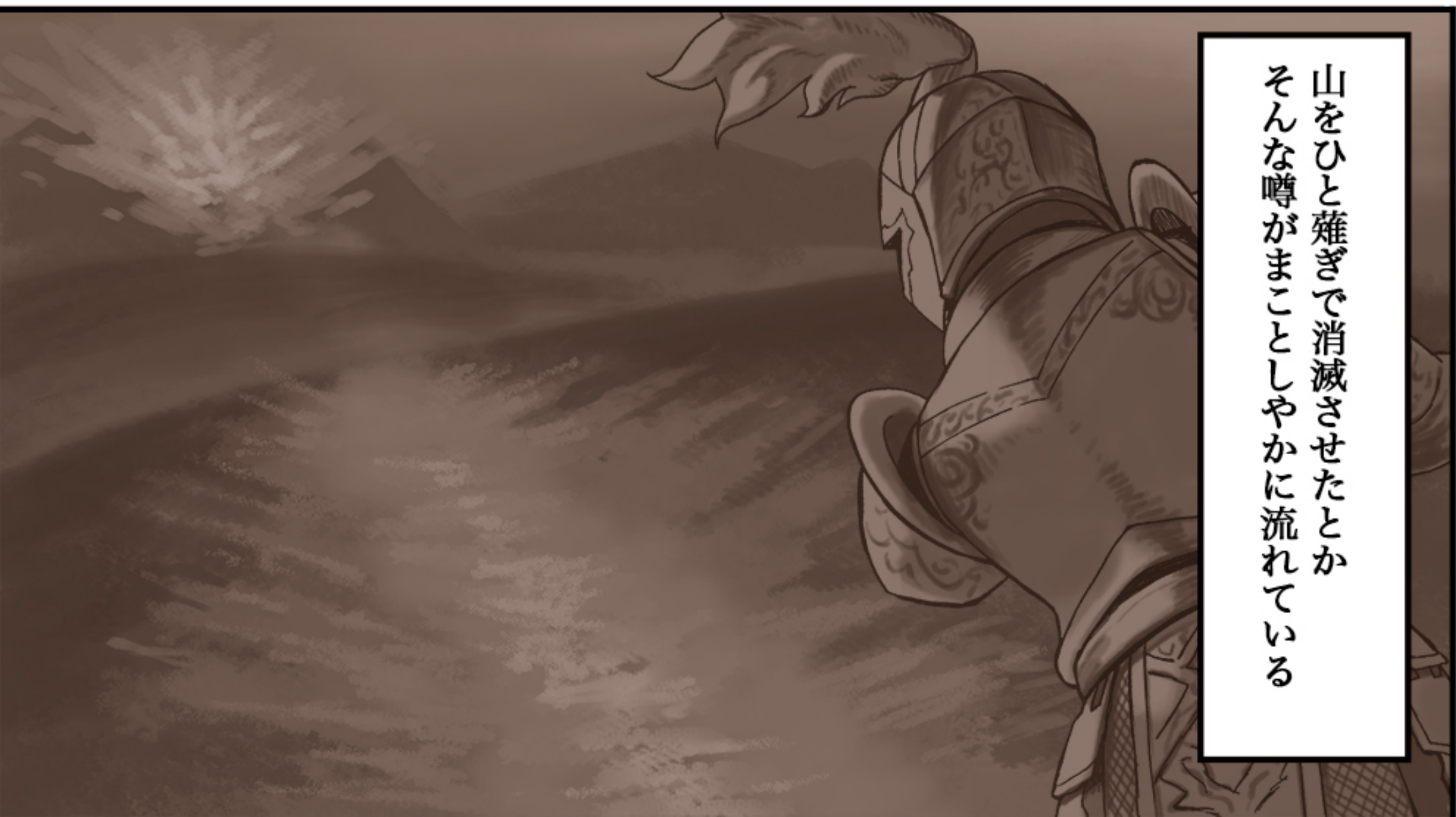
美しく平和なこの国には
秘密があった：
この国の王族は
女しか産まれて来ない
そして、

産まれてきた子には
不思議な力があるという

山をひと薙ぎで消滅させたとか
そんな噂がまことしやかに流れている

その力を継承する事で
この国の王となり剣と
なることされている

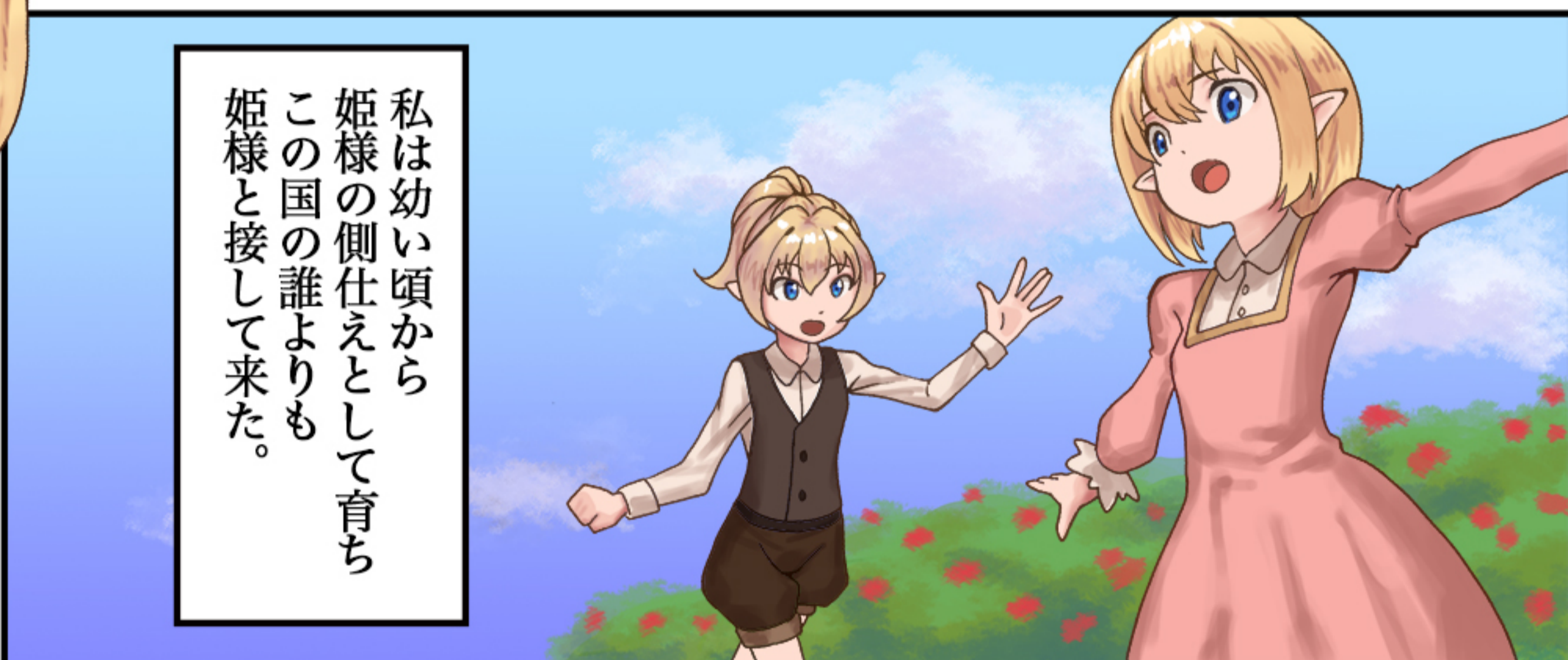
詳しい事は私できえ
知らされていないのだが、
なんでも戦で千の群勢を
一人で相手をし、勝利したとか



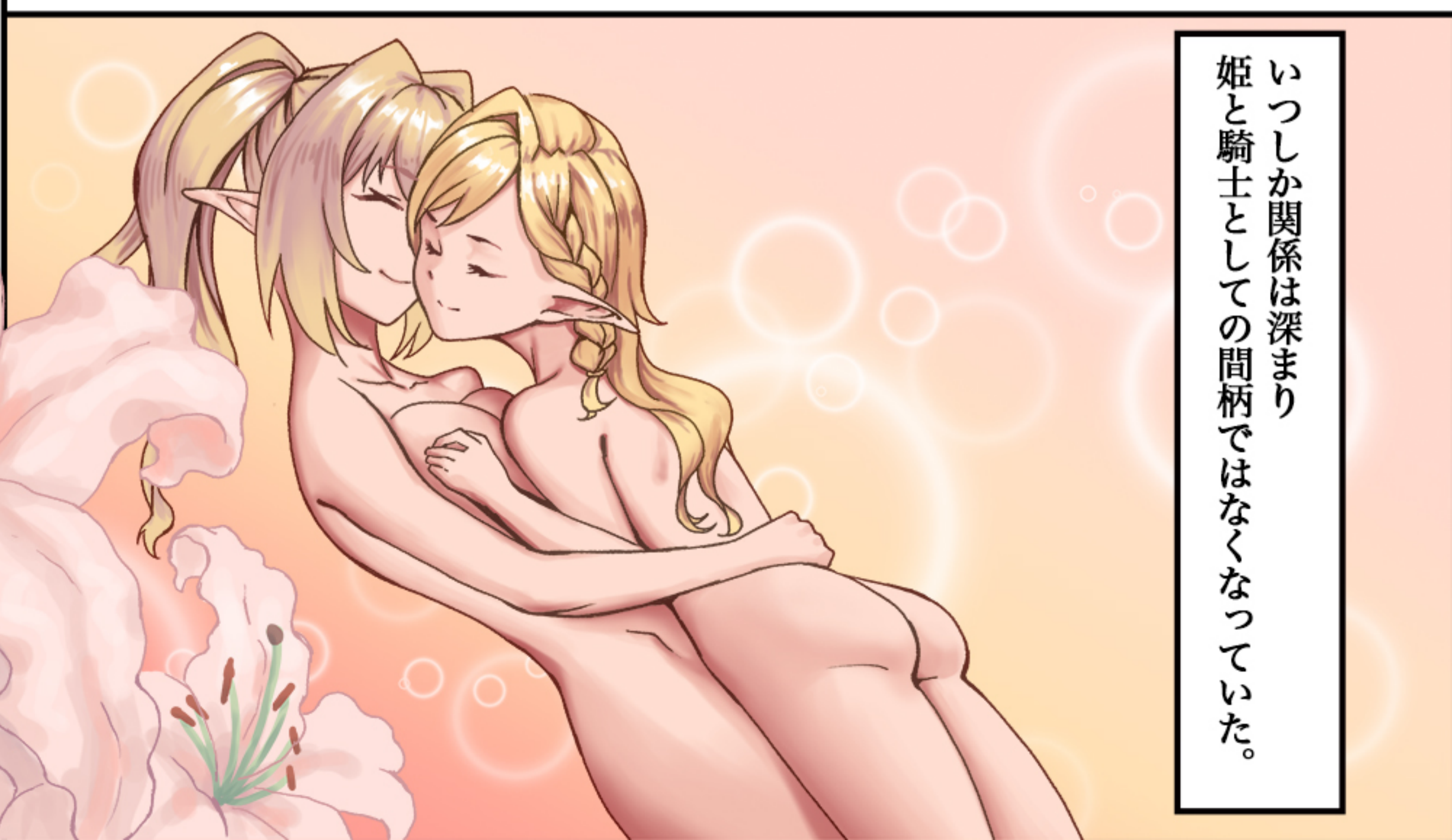
姫様には世継ぎを残す為、縁談の話が持ち上がっているようだがどうやら断っている様だ。恐らく私に気を遣っているのだと思う。



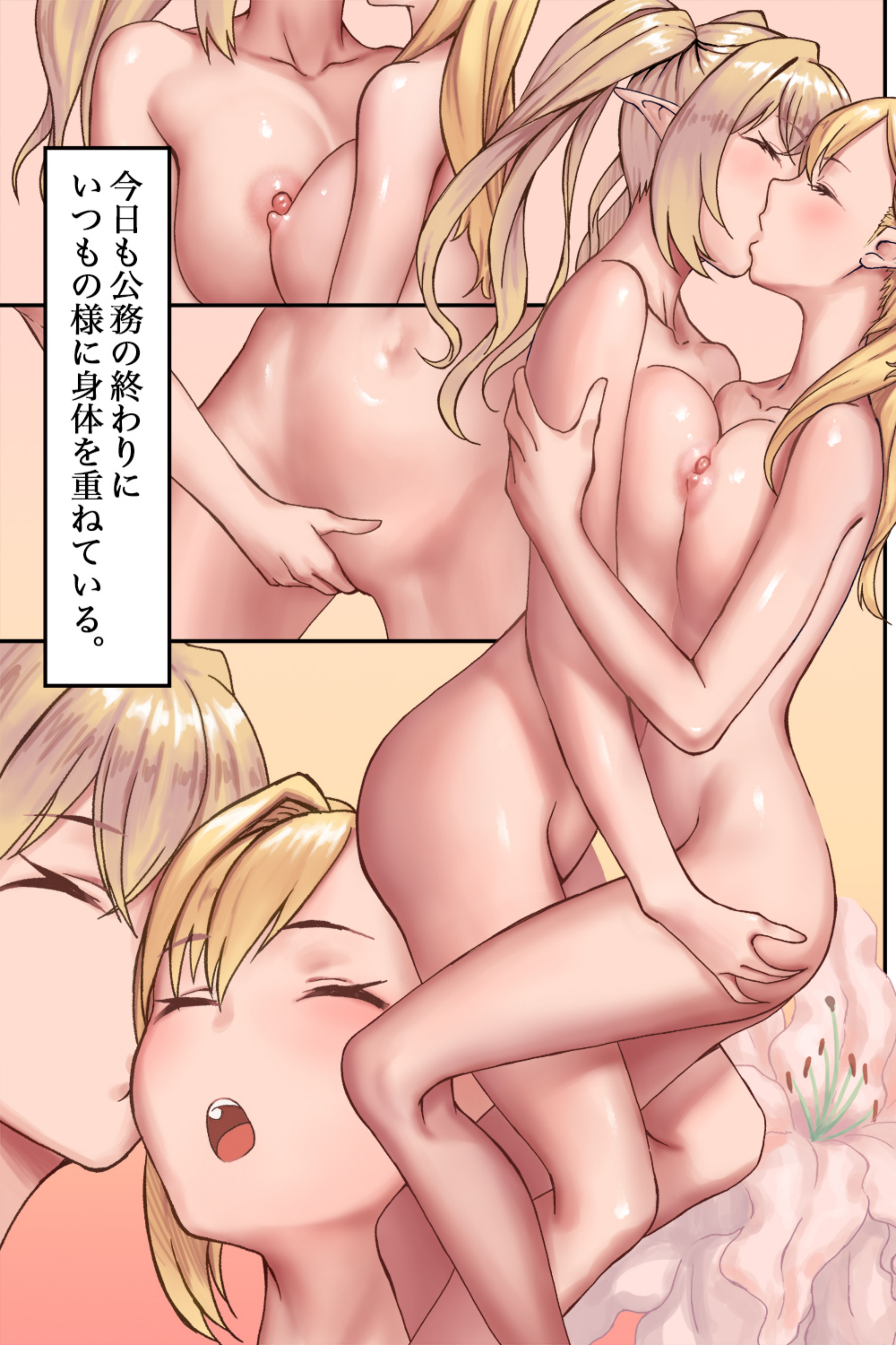
私は幼い頃から姫様の側仕えとして育ちこの国の誰よりも姫様と接して来た。

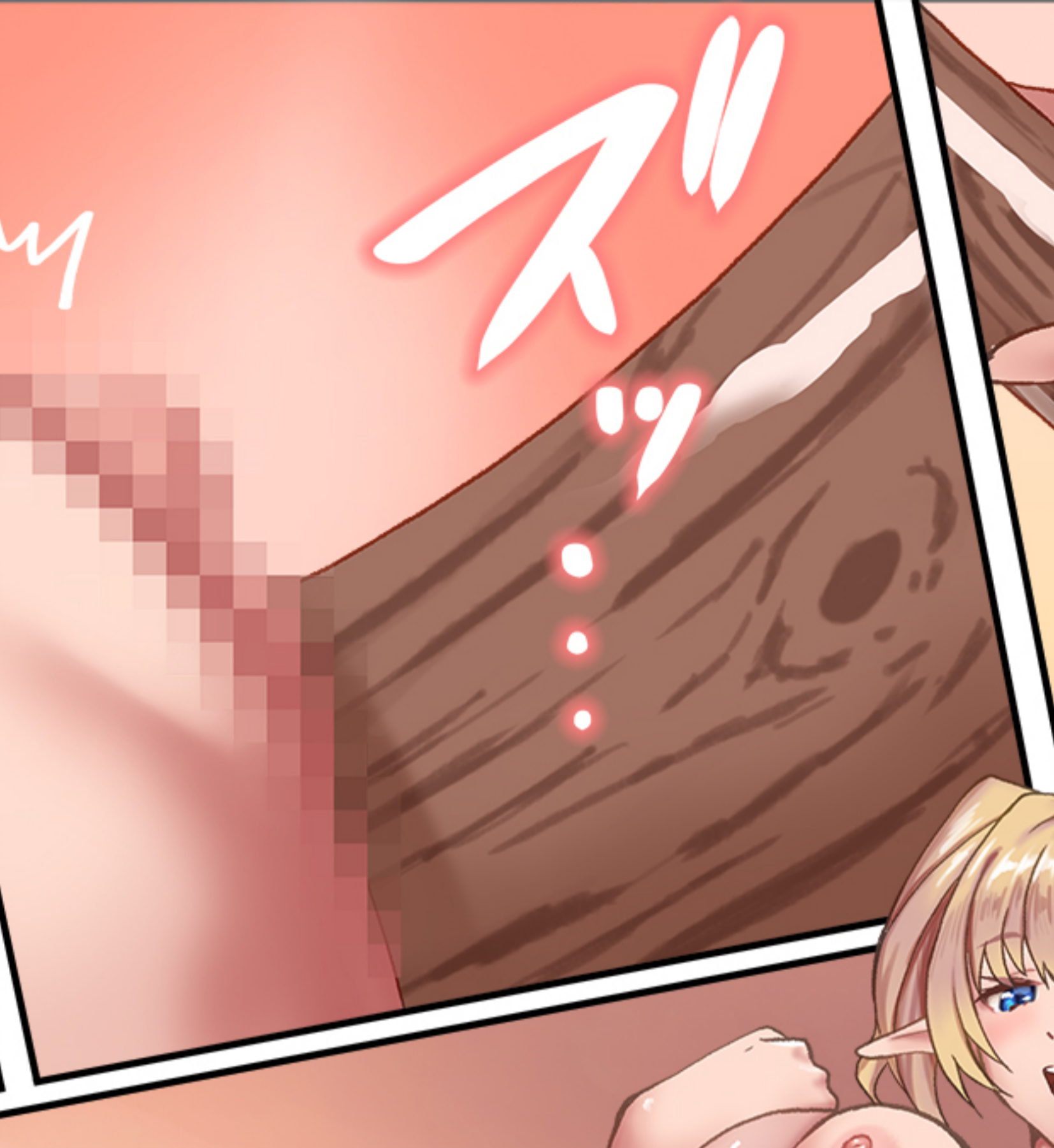


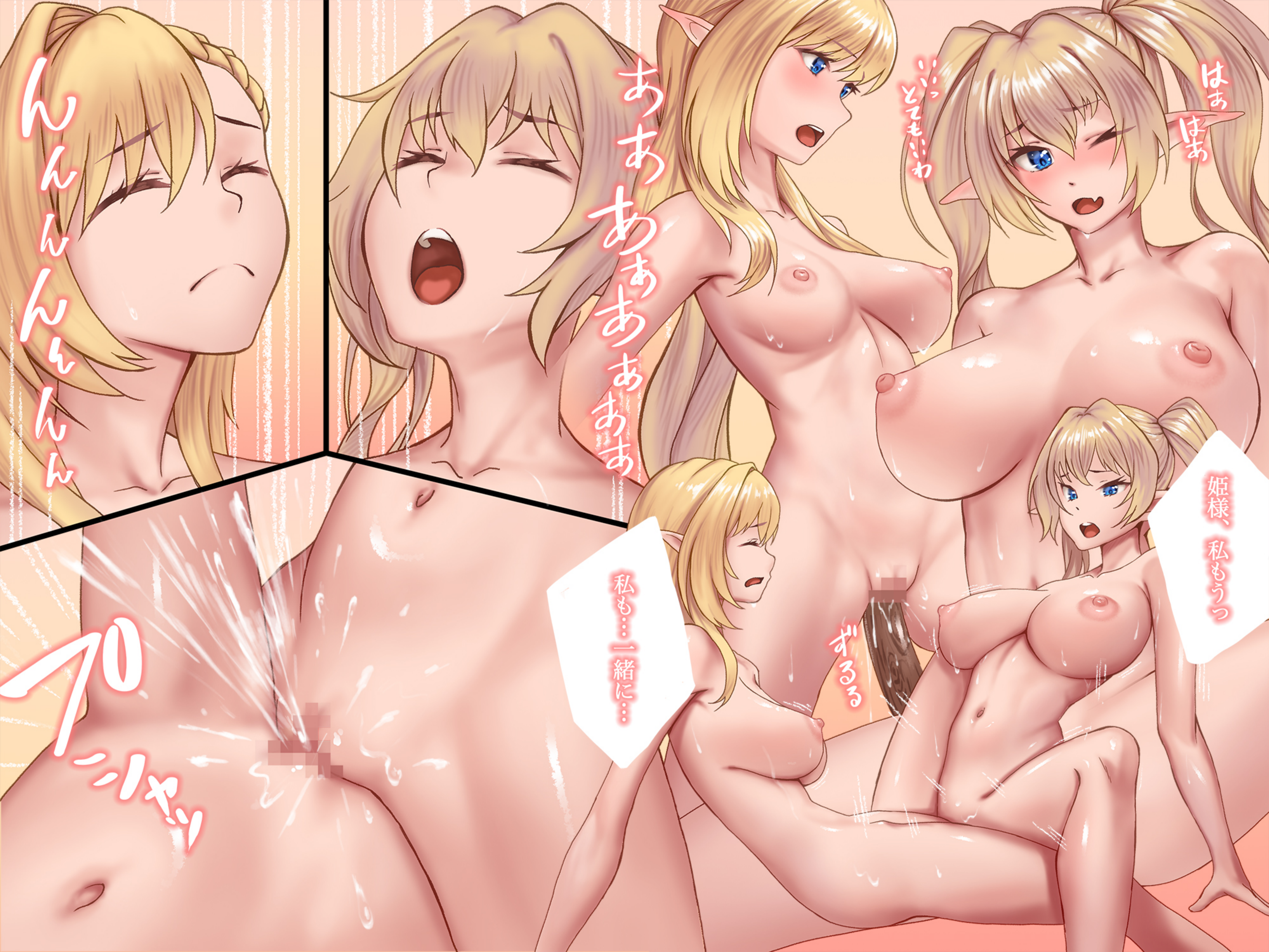
いつしか関係は深まり姫と騎士としての間柄ではなくなっていた。



今日も公務の終わりにいつもの様に身体を重ねている。







んんんんんんんん

ああああああああ

はあはあ

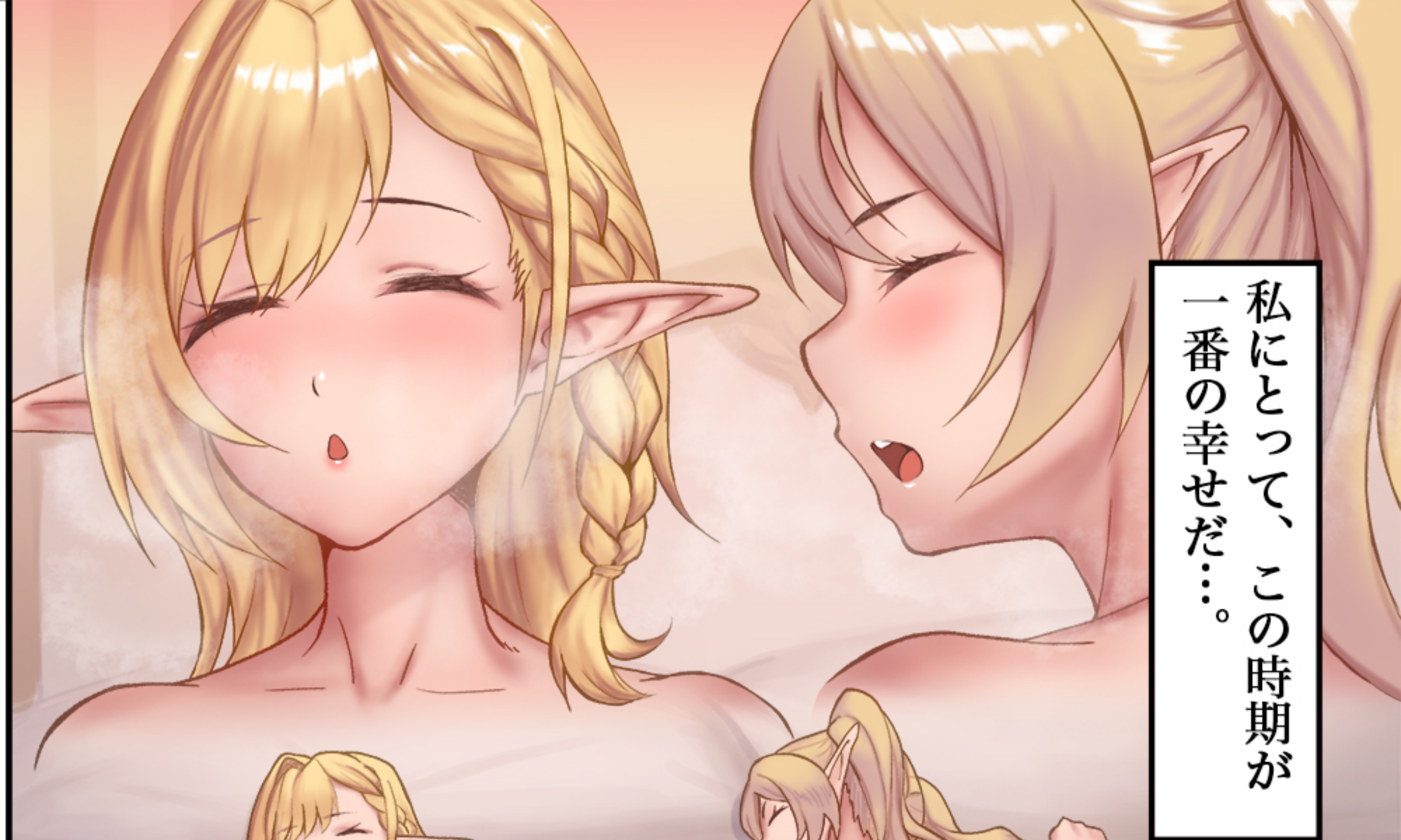
いっ
とてもいっわ

姫様、私もうつ


私も…一緒に…

おろろ

70
ハッ




私にとって、この時期が
一番の幸せだ…。




姫さまはこの国にとって、
大事なお方だ、本来なら
私なんか、隣に居ていいわけがない。

近い将来、どこかの貴族と
結婚して、私は離れなければ
ならないだろう。



願わくば、この時間がいつ迄も続けばと…

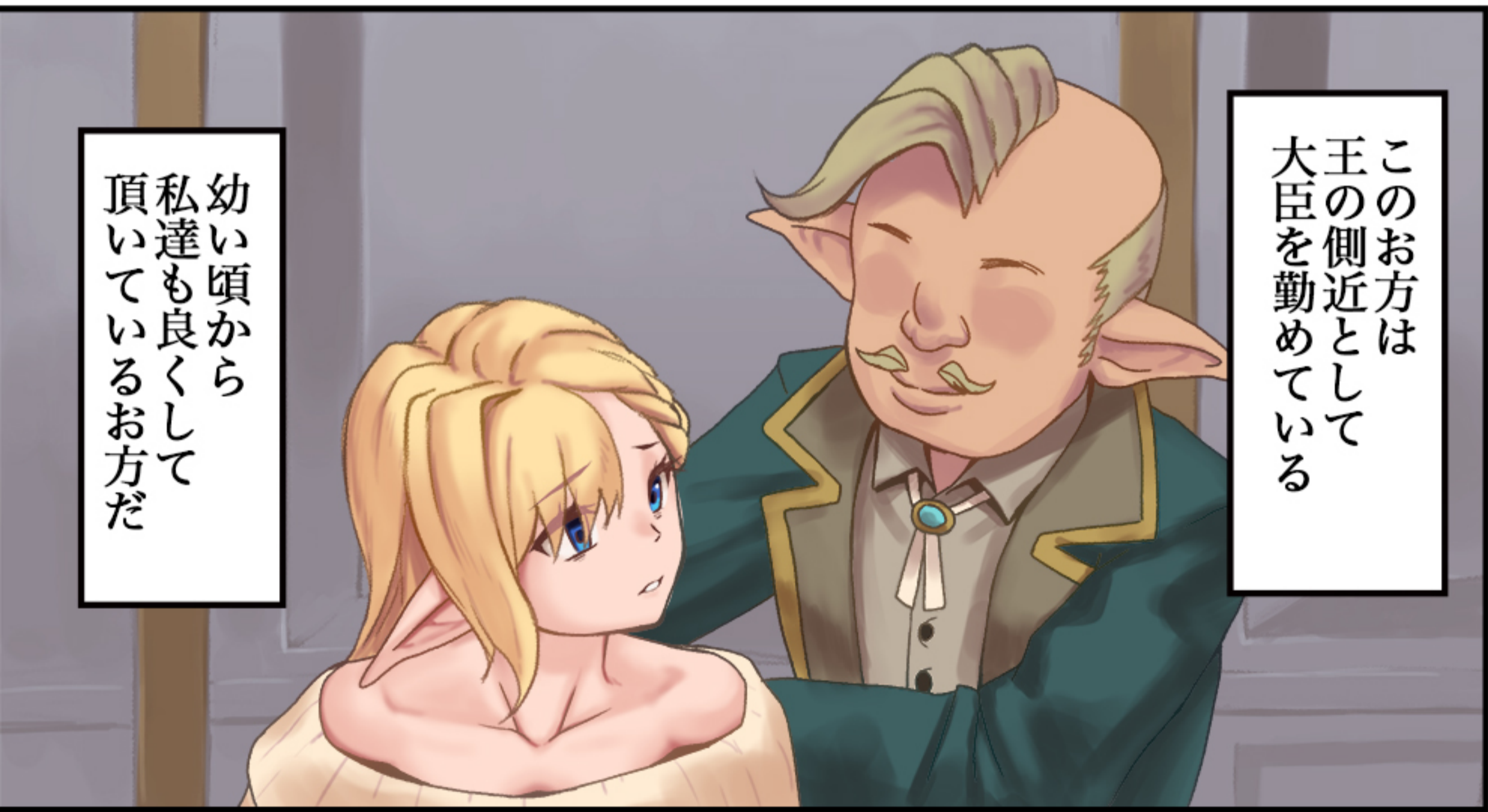
そんなあり得ない想像をした…



だが、あんな事になるまで
この時は想像もしていなかった。

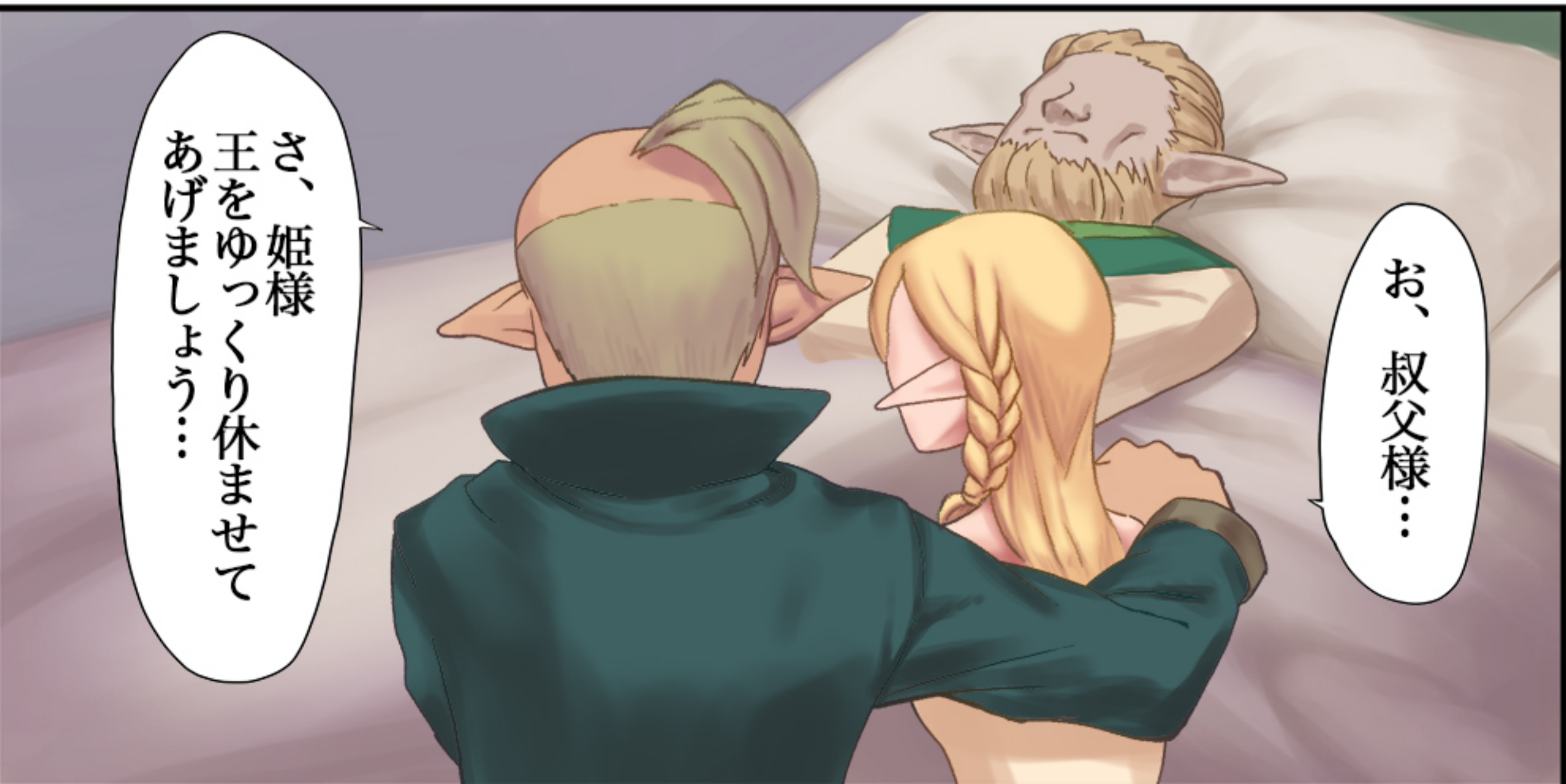


姫様…



幼い頃から私達も良くして頂いているお方だ

このお方は王の側近として大臣を勤めている



お、叔父様…

さ、姫様王をゆっくり休ませてあげましょう…



そして、そんな自分の事ばかり考えていた罰なのか床に伏せていた、王が崩御なされた…



なんだ!
あの表情は……?

アク……
……テイ……
アクテイ!



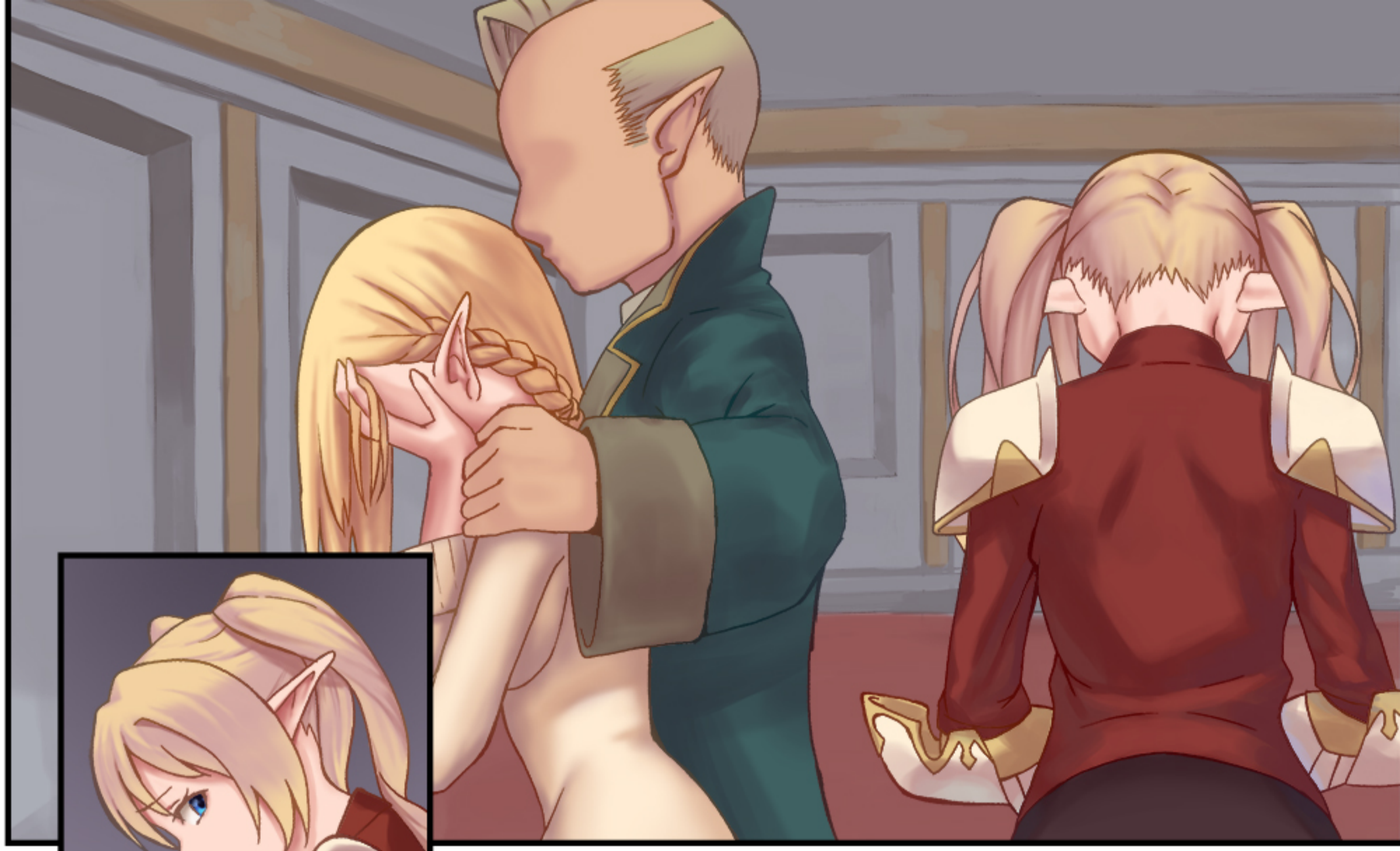
は、はい!



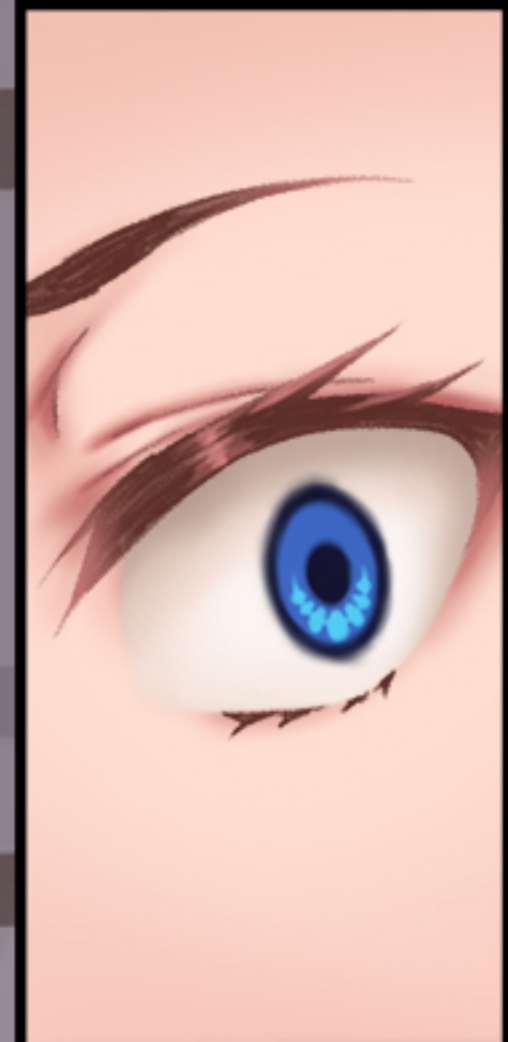
君も疲れているだろう
早く休みたまえ

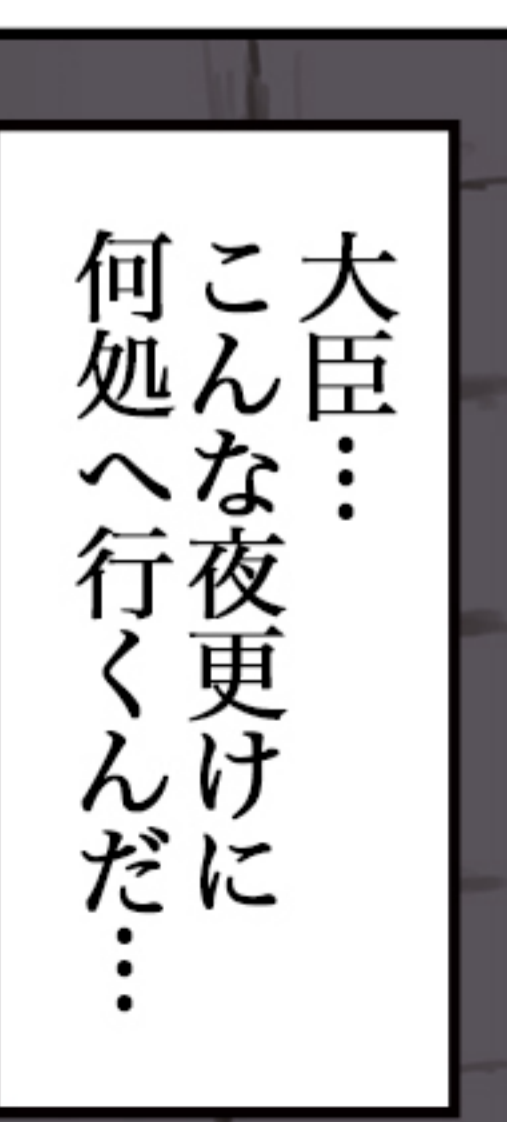
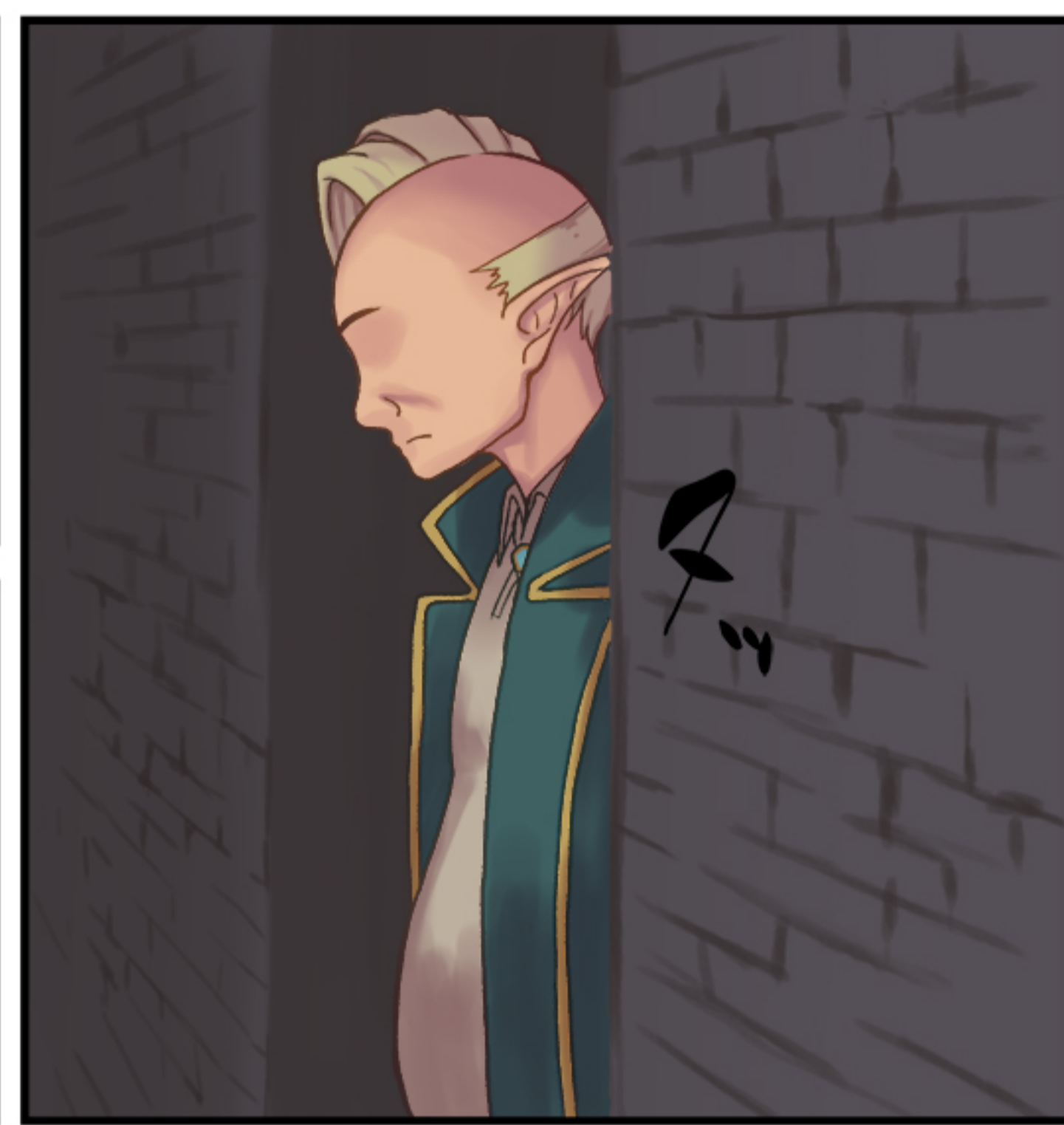
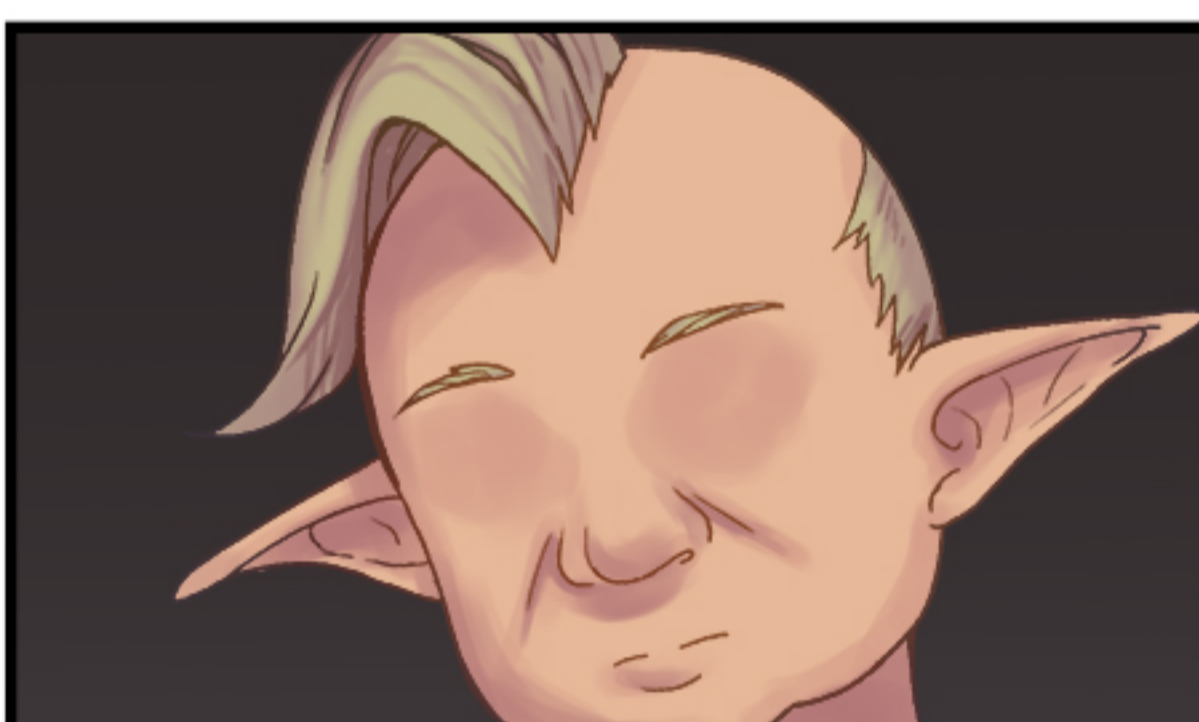
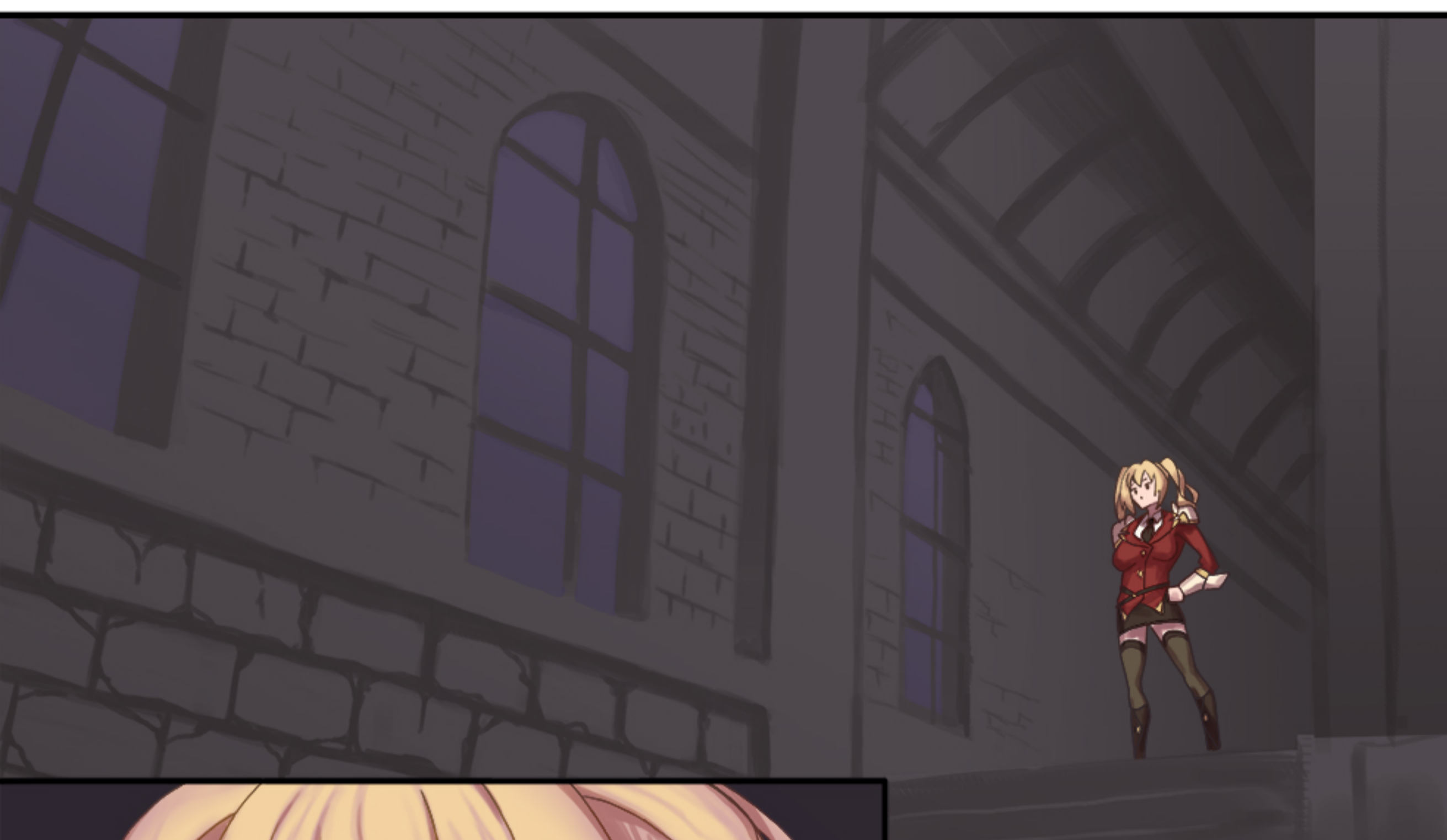
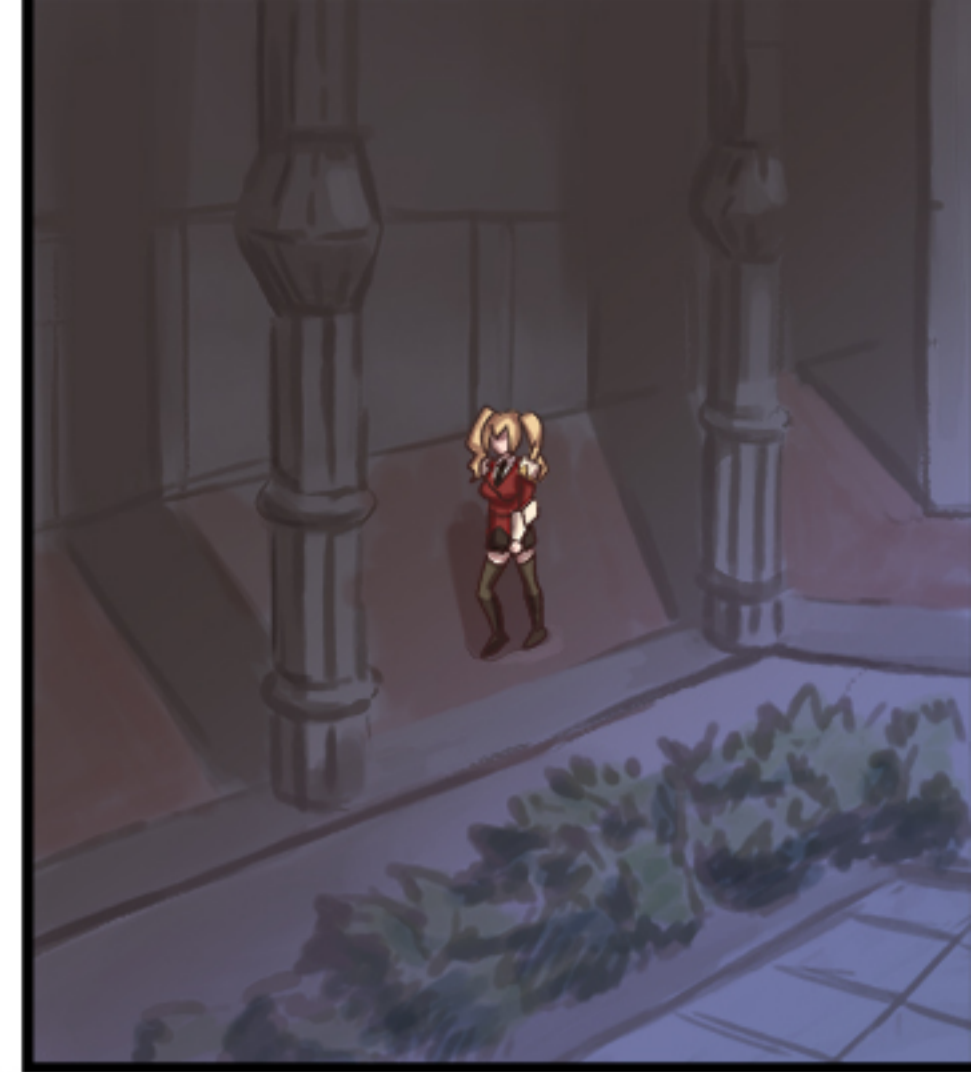


お、御心遣い
ありがとうございます



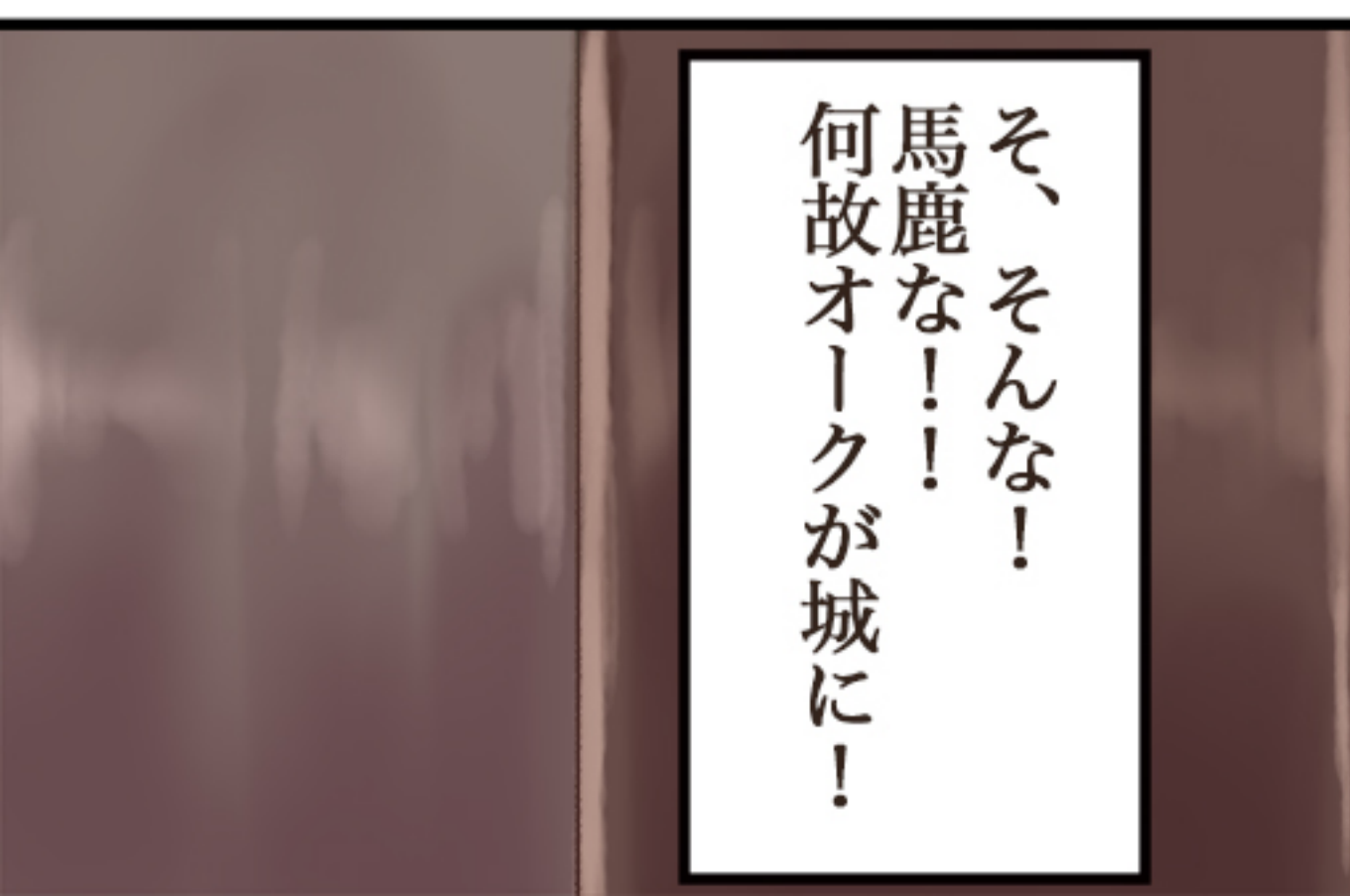
キラッ







大臣…
誰かと話して…



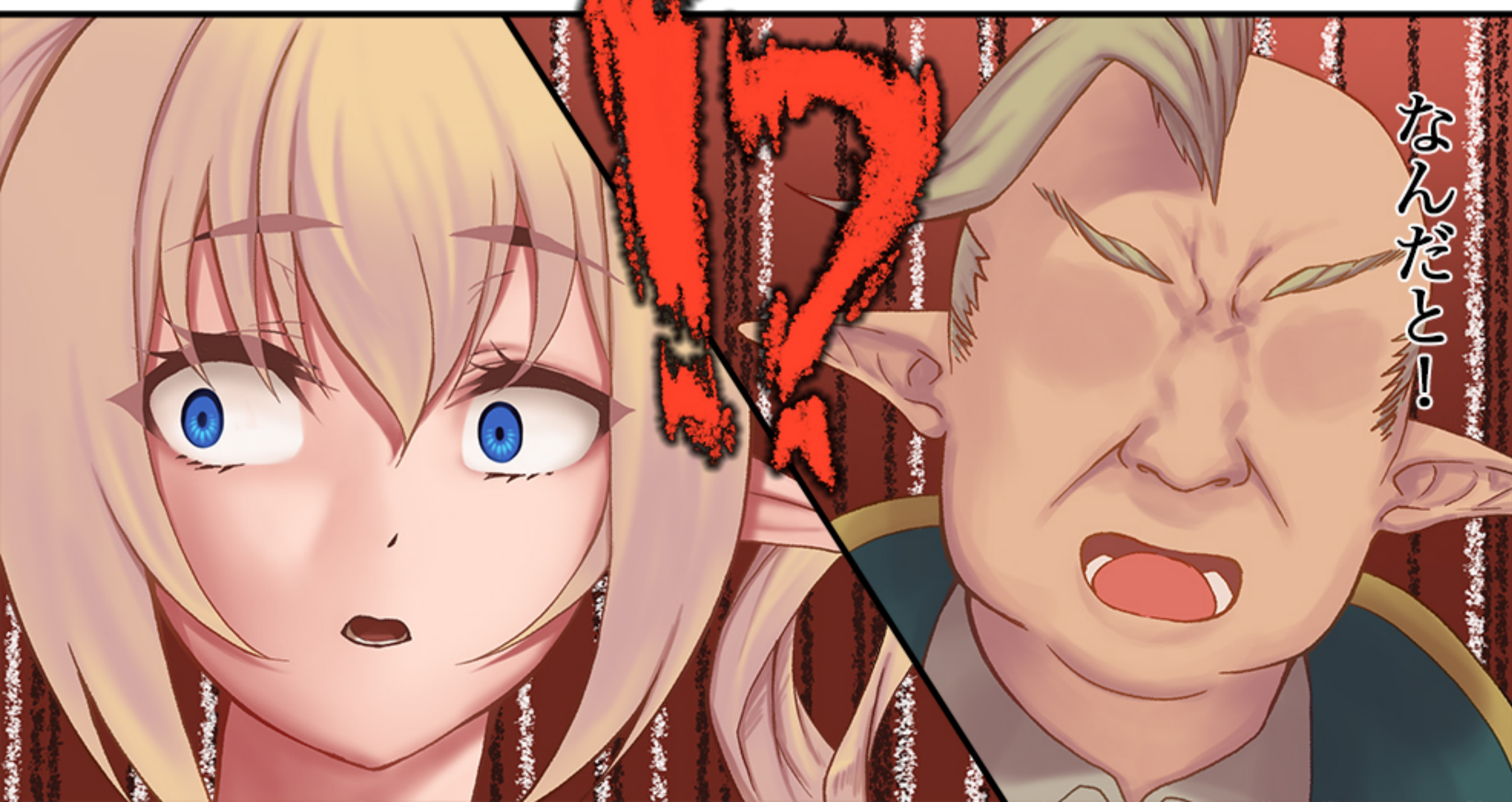
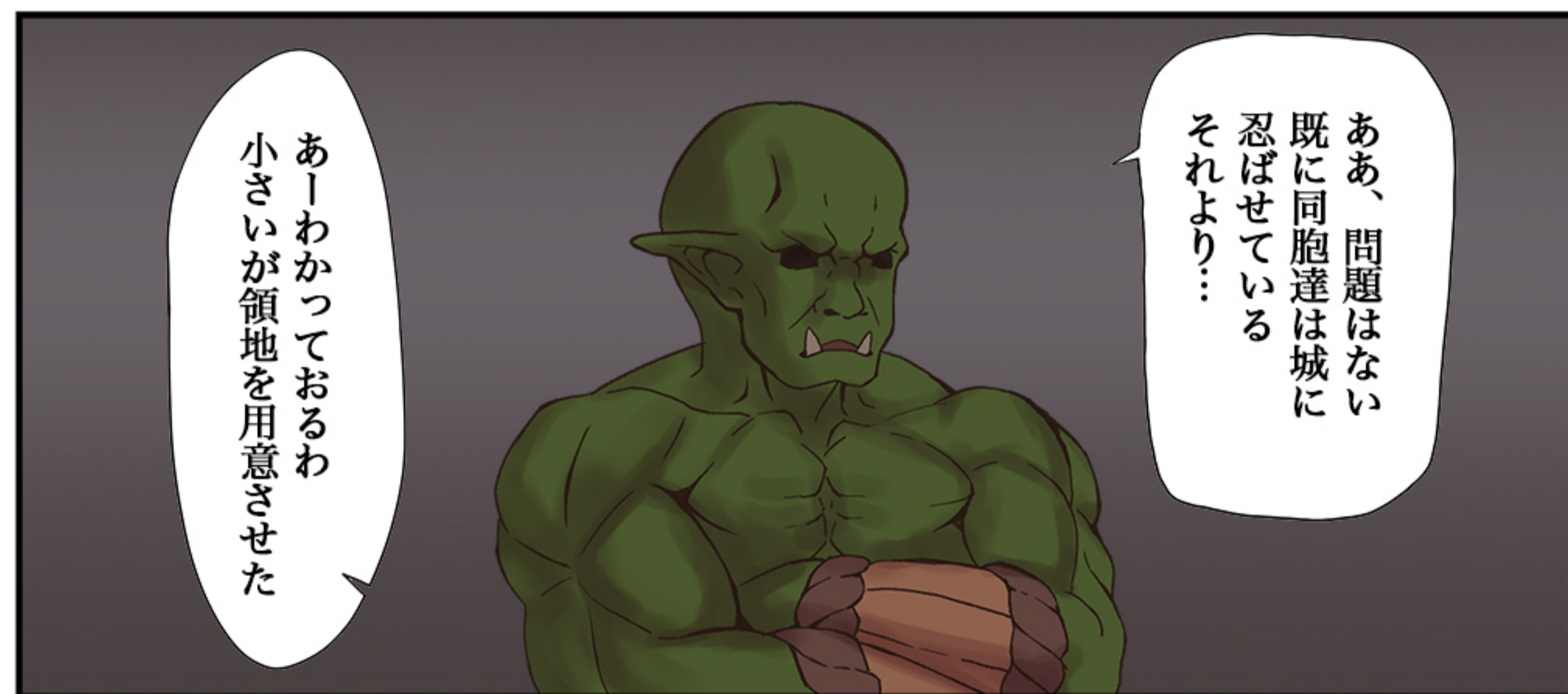
そ、そんな！
馬鹿な！！
何故オークが城に！



城の地下に
こんな場所が…




灯りだ…










アクテイ
どうしたのです？
こんな遅くに
早く休みなさいと
言っただでしょう？

おやおや盗み聞きとは
淑女のたしなみもあつたものでは
ありませんね
その思慮の無さのせいで
あろうことか姫様にー



大臣…
何故オークなんかと…
いや！それより
何故、王様に毒を盛ったのですか？

私は知っているのですよ
夜な夜な姫様と…
ああ、嘆かわしい
姫様もお可哀想に
こんな女にたぶらかされて…

黙れ！

自分の立場を
わきまえず
何が愛してだ！
このアバズレがっ！

何故それを…!?
わ、私はたぶらかして
など…純粹に
愛して…



よくも私の姫様にー
ゴホツゴホツ：
まあいい邪魔者はここで
退場してもらいましょ

おい！
この女は好きにしてもいいぞ
孕み袋にでもなんでも
好きにするがいい
報酬の前払いだ！







良いところ
あるじゃねーか大臣さんよ
なあ兄弟!

ひっ


アッ




それはそれは
お気に召された様で
では、私はこれにて




くっ待て!
話は終わっていない!




わからない人ですね
いいですか?
あなたはここで終わりなのです。
オク共にせいぜい
可愛がつて貰いなさい
それでは、
私は大事な用がありますので



可哀想にな…
お仲間に見捨てられて…
なあにこれからは俺達が
面倒を見てやるからよ
そうだろ？なあ兄弟！



ふぎけるな！
だ、誰が貴様ら
なんか…
くっそんな不名誉を
刻むくらいなら
死んだほうがマシだ！！



勿論だ！兄弟！
穴という穴をたっぷり
可愛がつてやるぜ！

気の強い女は
嫌じゃないー

グッ

ウヒヨク
でけく

これは楽しめ
そうだけつ

とんだエロエルフだ
こんな物ぶらさげて
良く騎士が務まる
もんだな



おほっ
柔らかかけえ
ドンドン沈んで行くぜ

きつ 貴様等！
汚い物を押しつけるな
こんな枷などなければ
貴様等など一太刀で
斬り伏せてやる！

ズム

ズム

ハハハッ
威勢の良い女程
屈服させ甲斐がある
つてもんだ

その後の
乱れっぷりが
楽しみだなあ

ズム

ズム

誰が貴様らなんか

私は誇り高き
この国のきー



ん
す
!!

あ
ちゅ
!!

あ
ちゅ
!!